

御 嶽 山

○ 11 月の火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○ 11 月の活動状況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2 - ）

三岳黒沢（剣ヶ峰の南東約 14km）に設置してある遠望カメラでは、山頂付近のごく少量の弱い噴気が時々観測されました。

・地震や微動の発生状況（図 2 - 、図 3）

山頂付近の浅い所を震源とする火山性地震の発生はなく、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動は 2 回観測されましたが、振幅が小さく継続時間の短いものでした。

・地殻変動の状況（図 2 - ）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

○ 噴火警報、噴火予報の発表状況（12 月 6 日現在）

気象庁は平成 19 年 12 月 1 日より、御嶽山について噴火警報及び噴火予報の発表を開始しました。

それに伴い、12 月 1 日に以下のような噴火予報を発表しました。

なお、噴火警報、噴火予報と噴火警戒レベルについては気象庁ホームページを参照ください。

・活動状況及び予報警報事項：平常

火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。御嶽山の噴火予報・警報は、噴火予報（平常）です。



図 1 御嶽山 南東側から見た山頂部の状況（11 月 24 日 三岳黒沢遠望カメラによる）

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学、独立行政法人防災科学技術研究所、長野県及び岐阜県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

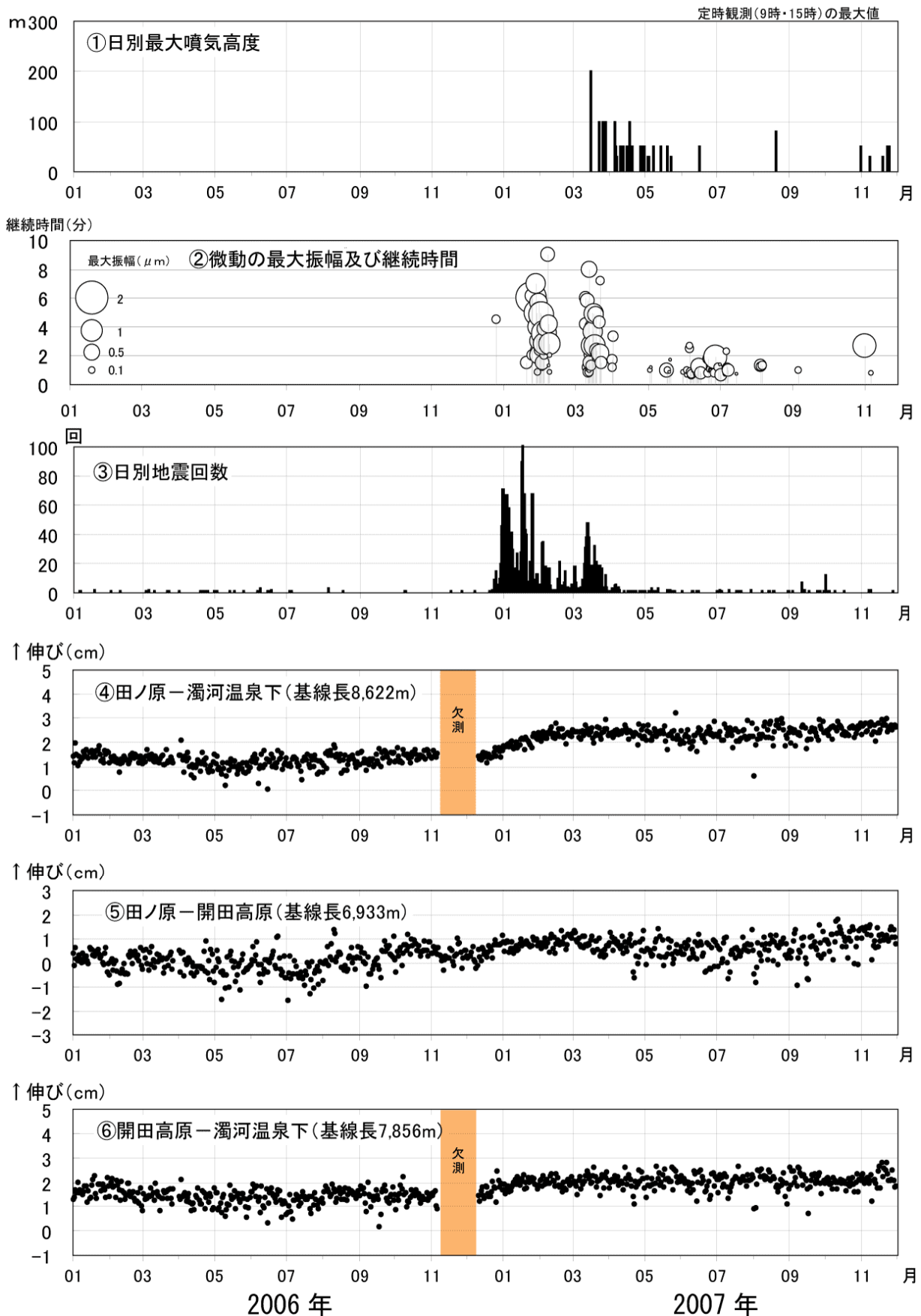


図2 御嶽山 最近の火山活動の推移（2006年1月1日～2007年11月30日）

図中 ～ は図4のGPS基線 ～ に対応しています。

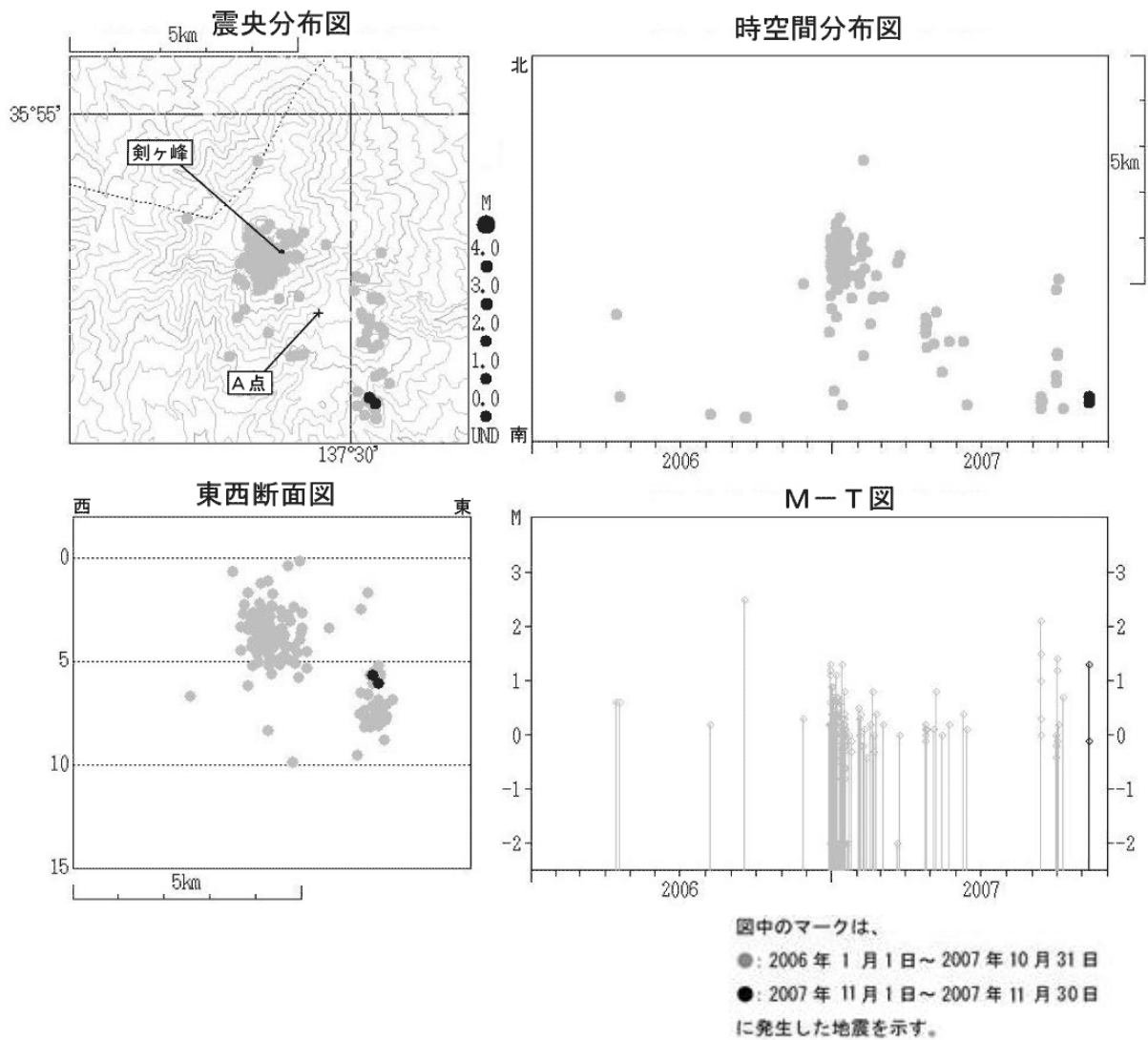


図3 御嶽山 山頂付近の地震活動（2006 年 1 月 1 日～2007 年 11 月 30 日）
+ 印は気象庁地震観測点（A 点）の位置を示しています。M（マグニチュード）は地震の規模を表します。図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。

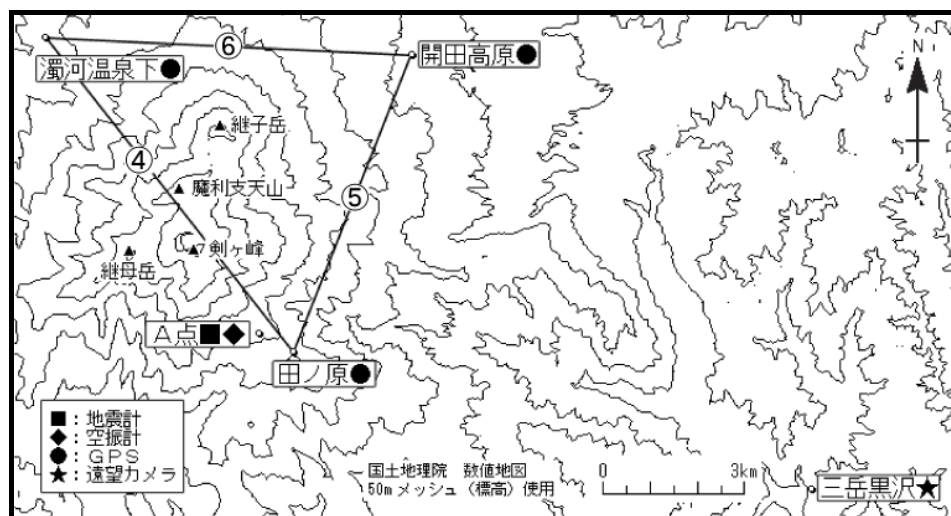


図4 御嶽山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
図中の GPS 基線 ~ は図2の ~ に対応しています。